



「進学の熊西」熊谷西高等学校 進路主事だより



# West (第18号)

2023.12.6. 平井 利久

## 「演習後の爆上げを狙うために」

冬休みは猛勉強しよう。人生で一番追い込んだ、勉強したと胸を張って言える位に頑張ろう。

国公立前期2次試験の2/25まで、まだ約80日あります。つまり、「夏休み」が2個分ある。どれだけ知識が積み重ねられる時間と余地があるのかということです。この時期の「演習」。とにかく、がむしゃらにやること。最後伸びない生徒は「得点ばかりを気にしている人」。「何点取れたか」ばかり気になっているとこれ以上得点は上がりません。今演習をやっている目的は、「傾向に合わせて行く訓練」と「知識のヌケ・モレチェック」です。後者の「知識のヌケ・モレチェック」、これを強く意識し、できなかつたところ、弱い分野を“得点できるレベルまで”徹底的に入力する(なんとなくではダメ。次出たら絶対に仕留める！そういう意識で覚える)。誰もが出来ているところが出来ていない分野を、即克服すること。演習後の対応が「爆上げ」の鍵を握ると心得ること。その上で、本番、力が発揮できるように自分を持っていくこと。やるしかない！

## 「保護者の皆様へのお願い」

- 第一志望大学を貫くことの大切さを是非共有してください。
  - ・国公立大学受験者は、後期まで必ずチャレンジさせてください。
  - ・私立大学は、第一志望大学を必ず受験させてください。
- 保護者の皆様が弱気になると、生徒の学力伸長に大きなマイナスになると言われています。
  - ・保護者の皆様が受験した受験時との状況は大きく違います。
  - ・生徒の将来的な「自立」を念頭に置いてください。
  - ・苦勞した経験は、必ず将来に生きてきます。
  - ・「納得受験」の主役は生徒本人です。

保護者の皆様が折れない、揺れないことが重要です。学校+保護者が一体となった後押しこそ、生徒の力を倍増させます。力を合わせて、生徒の高い志、第一志望現役合格の達成を応援しましょう。

学校や学年としても、これまで多くの進路指導を実施してきました。

- 学年団・学年目標：「和」
- 創り上げる生徒像：「未来を見据え、志を貫く生徒」
  - 方針(1) 第一志望を宣言し、具体的な計画の下、揺るがない進路実現を目指す。「勇往邁進」
  - (2) 生徒同士がお互いを尊重し合い、共に高みを目指す雰囲気を保つ。「切磋琢磨」
- ~One for all, all for one~
- 進路指導 3年時キャッチフレーズ「受験は団体戦 ~第一志望の貫徹～」と12の指導項目

### <3学年の主な全体指導>

- 4月20日(木) 6限統一進路「受験生になる」
- 4月28日(金) 新旧3年進路研修会
- 5月25日(木) 3限学年集会「進路全般について」
- 7月7日(金) 模試検討会・コンパス研修会(ベネッセ)
- 7月20日(月) 3限学年集会「学校推薦型選抜について」 「6月M模試結果・夏休み中の学習について」
- 7月30日(日) 学年PTA主催 保護者向け進路講演会 ~学年保護者会~(ベネッセ)

- 9月 7日 (木) 6限 統一進路「大学入学共通テストについて」
- 9月 8日 (金) 16:05～「7月模試検討会」(ベネッセ)
- 10月6日 (金) 16:05～「指定校学校推薦型校内選考決定者指導」
- 10月12日 (木) 6限「第一志望大学合格に向けて」(駿台)
- 11月1日 (水) 13:00～ 模試検討会(ベネッセ)
- 11月中 希望者三者面談・二者面談
- 11月16日 (木) 統一進路「受験スケジュールプランニング表の作成指導と進路指導」
- 12月中 「進路面談」および学年主任と進路指導主事での志望校チェックと助言
- 12月12日 (火) 学年集会「受験期直前 冬休みの心構えと生活全般の注意」
- 12月13日 (水) 13:00～「指定校制・公募制推薦決定者指導」
- 1月11日 (木) 出陣式「共通テスト直前注意」「生徒代表の言葉」
- 1月19日 (金) 出願検討会
- 1月31日 (水) 学年集会「家庭研修中の注意・合否報告について」

・進路指導主事だより「WEST」第17号まで発行 → 是非読み直して下さい。

・学年通信の発行 → 是非読み直して下さい。

- ・進路なう(西高VOICE含む)50回のメッセージ投稿 → 熊西ホームページ(進路指導)
- ・グーグルクラスルームでの配信と励まし

■今までの進路主事だよりの流れから、生徒・保護者の皆様への情報として大切な概略を以下に掲載しました。

<1月～3月「受験期」の心がけ>

1月～3月 「受験期」	●授業にきちんと出席し、最後の最後迄実力を伸ばす事を心掛ける。	浪人生が現役時代の1.5倍程度しか実力が伸びず、伸びる期間も夏休み位迄なのに対し、現役生は受験直前迄実力が伸びると言われている。 授業をきちんと受け、最後の最後迄諦めずに頑張る事が大切。 受験は高校生活の延長上にある。学校生活のリズムで平常心で。
	●前期が駄目でも後期迄頑張る。	後期試験が廃止傾向にあるとは言え、まだまだ実施する大学はある。「後期の倍率は見かけの倍率」と言われるように、前期が不本意な結果に終わった生徒が、途中で私立大に逃げてしまい、蓋をあけてみたら後期の実質倍率はとても低かった、というケースが多々ある。最後の最後迄粘る覚悟を決めて、受験に臨む事も合格する秘訣。

<受験前の5つの注意点>

- 1 チャンスを逃さない! (後で受けていけばよかったとならないように!)  
→ 受験は受けてみないとわからない。入試は1度きり。
- 2 弱気は禁物! (現役世代入試。2月時点での学力の伸びを見込むことも忘れない!)
- 3 国公立大学は、3教科型(私大型)入試も数多くある! 安易に私大へ逃げない。
- 4 国公立大学は、前期・中期・後期の3期でチャンスを多く! 中期も活用!  
→ 「一斉出願」! そして、後期も出願し、後期まで粘る(合格率高し)!
- 5 私大併願は、「チャレンジ校」+「実力相応校」+「安全校」三本立てで!  
国公立大学志望者はGMARCHを併願する(二次と通じる)  
→ 入試日程はできるだけ易から難へ!

## 1 国公立大学への出願

- ①前期に合格して入学 → 中期・後期は合格できない  
(前期と中期では時期が離れており、両校2校とも合格していずれかを選択、ということ  
は出来ません。中期に受かりたければ前期を辞退するしかありません)
- ②前期に合格したが辞退もしくは不合格だった → 中期・後期を受験  
(中期・後期の合格発表日・入学手続き日は重複しており、どちらか好きな方を選択出来る)

**POINT!** ・浪人できない生徒は、共テの得点を見ながら後期に安全校を持ってきます。  
・中期日程を受け、受験のチャンスを増やしましょう。大阪公立大、高崎経済大、都留文科大など。

### (3) 国公立大学出願および受験の注意点

- ・全国のどの国公立大学も内容がとても良く、少人数で丁寧な指導を受けることができます。また、大学院への進学率も高く、就職も文系理系ともに良い。

(例) 福井大学…北陸地区のハンディを埋めるべく、大企業を数多く大学に呼んで企業説明会を開くなど、熱心な就職支援が新聞でも取り上げられています。

企業側も「国公立大学出身者」という点を魅力と感じているようです。

高崎経済大学…文系の国公立大学は、公務員試験対策にとっても力を入れています。

地方国公立大学からの公務員試験合格者も増加傾向にあります。

⇒ **最後の後期まで国公立大学を目指しましょう。**

- ・ほとんどの国公立大学が共通テストで合否の大勢が決まります。共通テストでできるだけ多くの点数を取りましょう。

- ・**毎年、進学校では後期試験で30~50名の生徒が合格を勝ち取っていきます。**倍率が高く難しそうに見える後期ですが、**実際は当日の欠席率が高く合格しやすい大学が多くあります。**最後の最後まであきらめないことです。

＜後期試験欠席率は6割を超える＞

→ **前期で合格している人は受験に来ない。** チャンスと考えよう。

- ・得意科目と苦手科目の配点に注目しながら志望校を考えましょう。大学によって出題範囲や傾向も異なるので確認をしましょう。また、国立大学と私立大学の受験科目は極力そろえましょう。

### ■生徒の皆さんへ【共テ後の指針(あくまでも参考)】

#### ① 目標どおりに得点できた場合

全国レベル(平均点の変動などを加味)で予定した得点が取れた場合、またそれより±20点(900点満点)の範囲で、合格可能性がA~B、あるいは50%以上の場合は、おおむねそのまま出願。

#### ② 目標よりかなり多く得点できた場合

予定より40点ぐらい上回った場合、2次の科目・配点を考えずに志望校を1ランク上げる人がいるが、2次科目の学力不足で不合格になるケースも多い。マーク式特有の幸運による+αは割り引いて考えよう。ただし、共テの配点が高く2次科目に不安がなければランクアップ可。

### ③ 予想外に悪く目標を下回った場合

逆にCやDの判定になり、合格可能性が30%以下の時は注意したい。実力不足だった場合は、すみやかに志望校を変更する必要がある。ただし、共テの失敗があくまでも勘違いや計算ミスなど不注意によるもので、2次学力に自信があれば、2次の配点比率が高い大学を選ぶとよい。その際、志望校が2段階選抜を予告していたら、ここ数年の実施の有無と突破ラインを調べておく。とはいえ、合格の基本戦略となるのは、共テの持ち点を活かした「先行逃げ切り」である。受験機会が少ない上、後期を廃止、縮小した大学・学部も多い。そのため、満足感が得られるなら、「次善の志望校」への変更もやむを得ない。その場合は、科目・配点の面で極力有利になる大学・学部を重視し、出願校を再選定する。**逆転の可能性があるなら2次試験で合格者平均点をとることが最低限の条件。**

## 2 私立大学への出願

### (1) 私立を受験する理由

①第一志望校が私立大学      ②国公立大学の滑り止め      ③国公立大学のための練習

- ・浪人ができない生徒は、国公立大学の滑り止めとして受験します。
- ・**共テから二次試験までの約一ヶ月は模試がないので、どれくらい勉強が進んでいるのかが分かりません。また、試験から遠ざかるのでカンも鈍ります。そのため練習として私立大学を受験します。**

### (2) 受験の方式

難易度は、共テ>全学>個別の順で、他大との偏差値比較の対象となる肝心の個別が最も低い。

**・<全てダメでも！>3月入試 … 3月に実施されます。2月以降に申し込みができます。**

- ・「共テ試験利用型」は、大学によって難易度が変わります。一般に人気のある大学はセンター試験での得点が要求されます。また、試験を受けに行かなくてもいいので負担も少ない入試です。

**「もう少し多めに受けておけばよかった。」という声を3月にしばしば聞きます。**

**どうしても合格したい大学については、色々な方式で数多く受験をしましょう。**

- ・1つの大学を何回も受験すると問題に慣れるので合格の確率が上がります。ただ、受験は2日連続にしたいものです。3日以上連続して受験することは避けましょう（場合によりけり）。
- ・**3月入試は定員の10倍の人数を取るところもあるので、3月入試でも合格する可能性は十分あります。**共テ型や一般入試ではダメだったが最後に後期で合格した生徒が数多くいます。どうしても合格したい大学は後期入試まで粘りましょう。（特に私立文系の生徒は最後まで頑張りましょう。）

### POINT!

- ・**受験校は、「チャレンジ校」+「実力相応校」+「安全校」。**ダイヤモンド型・四角形型で。
- ・日程は、**易しい大学から受け始め最後に難関を受験するのが理想**です。
- ・**国公立の前期試験の力試しとして受験するパターンはよく使われます。**
- ・どうしても浪人できないときやどうしても取りたい私立があるときは、**できるだけ多く受験。**

### (3) 私立大学出願および受験の注意点

- ・**共テが終わってから私立大学の一般試験まで 約10日です。共テが終わってからでは間に合わない場合もあります。事前に準備をしておきましょう。**
- ・赤本を使って出題傾向のチェックを行うこと。傾向の近い大学を受験するのも一つの方法です。
- ・模試の成績も大切だが、**過去問の得点が、過去の合格最低点を越えているか**も重要な選定材料です。